

☆前回審議会におけるご意見等(事務局補足)

| NO | 委員意見等 | 事務局回答 |
|----|---|--|
| 1 | 進捗を測る指標(達成効果目標)は、何を測るのか | 施策の実現によって目指すべき市の姿(施策の目標)の達成度を測るものと考えております。 |
| 2 | 施策の評価は、「重点施策・重点取組・重点事業だけ」を見て実施するのか、又は「全施策体系」を見て行うのか | 施策そのものの評価自体は、一義的には、1にあるように指標の達成度で測りますが、どの程度進捗しているか、推進手法として適切か等を傍証する一つの手法として、当該施策の実現手段として位置付けられている当該施策配下の全ての取組や事業の評価結果等から、当該施策の達成にどの程度寄与したかも測ってまいります。 |
| 3 | 施策→取組→事業といったトップダウンで見ていくのか(取組を構成する具体的な事業を見ていくか)。又はボトムアップで考えるのか(事業に漏れがないか)。 | 基本構想の目指す将来都市像や重点目標が達成(実現)できるような、施策→取組→事業が挙げられているか、そしてそれらの中でも特に達成に寄与できると期待されるものが優先されているかが重要。基本構想(重点目標)→基本計画(施策→取組→事業)という流れでご覧頂きたいと考えます。事業起点から遡るボトムアップ的な細かい漏れのチェックではなく、目標達成の視点での大局的な施策の方向性に対するご意見を頂きたいと考えます。 |
| 4 | 一つの事業を行って、多方面の効果が出来るものが優先度が高い。 | 優先度を測る物差しは、原則、将来都市像の実現や、重点目標の達成に資するかどうかを基準として頂きたいと考えます。多方面に効果があるというのは、主たる目的の達成以外にも副次的な効果が得られるというものであるが、仮に副次的な効果が様々にあっても主目的の達成にあまり寄与しないのであれば意味がないことから、多方面に効果があれば優先度が高いというものではないと思量します。 |
| 5 | 基本構想の重点目標に照らすと、施策→取組→事業に当該重点目標の内容が全て網羅されていない。 | 7本の柱のそれぞれの中で重点3目標の全てを網羅する必要はなく、3目標の一部しか関係しない施策・取組・事業がならば柱も場合によっては生じ得ますが、7本全てを見ればどこか(1箇所とは限らず複数箇所)で3目標が網羅されているものと考えます。 |

☆前回審議会におけるご意見等(経済・活力分野)

| NO | 委員意見 |
|----|--|
| 1 | <p>柏駅舎改修と機能強化の推進 …広域交流スペース、駅周辺の空間の有効活用と合わせ、中心市街地の再開発事業と同等かそれ以上に重要と考える。</p> <p>現在の駅舎内は乗降客と西口―東口を往来する人の雑踏の場としてのみ機能している。人が集まる場所として有効活用されているとは到底言い難い。行政のワンストップサービス窓口、住民票等文書の受け取り、柏市の観光・事業全般の案内、情報発信、貸出図書返却との場として、また、休憩や軽食がとれる場など柏市民、近隣住民が交流できるよう文字通りキーステーション機能の発揮が期待される。</p> |
| 2 | <p>柏市の農業は、東京圏の住民を支える大都市近隣農産物の供給を担ってきた。農業は未来永劫、人間の命を支え続ける柏の基幹産業。これからも担い続けなければならないし、担い続けられる。しかし、そのためには農業を支える仕組みが必要である。その中心となるのは柏の消費者と新規就農者。消費者は、柏の農業・農家と関わりCSAなどで柏の農産物を消費するのはもちろん生産・出荷を助ける。若い市民は、新規就農者として柏の農業の未来を支える。ともにその仕組み、谷津の耕作放棄地を復田して米作りに家族ぐるみ参加する市民グループ作り、農家、農地、販売所とつながるフットパス、農業塾などによる養成システム作りなどが必要である。</p> |
| 3 | <p>未来につながる北部地域の魅力向上…北部地区は急速な都市化で高温・乾燥化が進んでいる。キャンパス駅地区に広い敷地を持つ某工場から依頼されて敷地内の生物多様性を図る取組みの可能性を調べたが、乾燥化がひどいため植物は極めて貧しく、衰退の兆候。地面のコンクリート、アスファルト化が進むと都市が砂漠化する見本になりつつある。こんぶくろ池の水が枯渇してポンプアップしている現状。</p> <p>北部の緑が失われつつあることも考え合わせ、人間の住む場所として問題が生ずるのは明らか。「地域のにぎわいを創出し、市全域の活性化につなげることが期待できる」というのは甘いのでは。北部に集まる人々が魅力的に感じ心落ち着く景観(利根運河や螢が乱舞する大青田湿地などを中心とする自然景観など)がバランスとしても必要。</p> |
| 4 | <p>3-2、北部地域の魅力向上について、 ④施策実現のため、重点的に投資する取組 UDCKを中心とするエリアマネジメント推進 柏の葉ブランド確立の推進</p> <p>この2点は、いずれも柏の葉キャンパス地域ができて以来ずっと行ってきたことと変わらないように思いました。</p> <p>もし、今まで通りの内容でよいであれば、その旨明記していただきたい。</p> <p>特に、「柏の葉ブランド化確立の推進」について、ブランド化は具体的にどういうブランドにするか?「スマートシティ」というブランド戦略を続けるならばその旨明記していただきたい。</p> |
| 5 | <p>農業の6次産業化が声高に言われていますが、生産量の少ない柏市の現状では如何しても小規模になり、原材料費が高くなります。このでは地方の大規模営農で生産されたものに勝てる見通しありません。</p> <p>「分野別計画案における優先順位の考え方」P2の農業分野に「例えば6次産業化」とありますが、本当にそうでしょうか。</p> <p>消費者の選択肢の多い今日、作れば売れる、良いものだから売れる、はありません。生産者目線の計画に思え、消費者心理をもっと考える必要があるはず。売るためのイメージ作り、販路作りが不可欠(=資金投入)であり、そういう意味での商業・製造業との連携が重要と考えますが、その問題意識が伝わってこないのです。不安を感じます。</p> |

☆前回審議会におけるご意見等(地域のちから分野)

| NO | 委員意見 |
|----|--|
| 1 | <p>○活発に活動するコミュニティの実現 市民意識調査で地域活動等に参加したくない人が38%います。事業でこの人たちをどうするか強調したほうが良いと思います。</p> |
| 2 | <p>図書館について、以下キーワードを上げます。 快適な滞在空間へのリニューアル、子育て世代への支援、資料に地域特性を持たせる、近隣センターを簡単な改装を含めて充実させ、地域サービス、地域コミュニティの場に変えていく。高齢者の交流スペースとしての図書館、ICなどの活用による業務の合理化、郷土資料のデジタル化、学校と連携、民間活力の導入、にぎわい、交流を生む図書館、地域の人々をつなぐ図書館</p> <p>最近の図書館は長時間滞在する方が多く、居心地の良い空間、交流の場、というのが流れとなっています。また、多様な年代の人が活用できる場(一定の年代の方だけではない)になるようにあらゆる世代にむけての企画なども多く行っています。 地元の企業や人をまきこんでのにぎわい創出もおこなわれています。 柏市の図書館は新築等は無理、とお聞きしていますが、本当は駅に貸出、返却のできる窓口を設けたり、(予約などはネットでできますので)本館は居心地良い空間に少し改修する。近隣センターは特色ある資料に特化し整理するなどが重要と考えます。 海老名市では海老名駅に市の窓口と一緒に本の受取、返却窓口ができたため、多くの利用があるようになりました。 また、柏の葉キャンパスにはたくさんの子育て世代がいるにも関わらず、図書館がない、というのも「子育て」に力を注いでいる柏市の政策としてはさびしいと思います。</p> |
| 3 | <p>文化、スポーツによる柏の魅力発揮について、先に表明したが、関連発言もあったので補足する。 柏は毎年、吹奏楽の全国大会で小、中、高とも最高レベルの成績を残してきた。もちろん、指導者の献身的な努力・指導があつてのことである。しかし、指導者も年を取る、疲れもする。この成績を将来も残し続けることは簡単ではない。柏で吹奏楽に取り組んできた子どもたちの層の厚さは群を抜いているはず。若者たちや大人たちがその楽しさをまた味わってみたいと思うのは当然のこと。成人メンバーによる吹奏楽団が指導者を育て、指導者を支える大きな力になるはずだ。柏の名声は大きく、長く続く。サッカーについても全く同じことが言える。</p> |
| 4 | <p>資料⑤(18頁1)地域活動人材の発掘・育成の5年間のロードマップの活動内容について 北部拠点における事業展開、中央拠点における事業展開、南部拠点における事業展開と表記されているが、事業展開の内容がよく分かりませんので、もう少し分かりやすく表記してほしい。</p> |
| 5 | <p>5月の会議での発言で、「図書館機能の強化」は重点的に取り組む課題にしたほうが良いと発言させていただきましたがその補足です。 図書館は、ただ本を借りるためだけに訪れる人ばかりではなく、そこで時間を過ごす人達も沢山いるので、地域のコミュニティの場として、より快適な場になるよう検討すべきではないかと思います。</p> |
| 6 | <p>図書館はこちらに生涯学習として入っており、優先度は4番目。先日の会議で委員から指摘があつたように、もう既に出来ていて当たり前なことしか事業として挙げられていません。 基本構想第4章の「充実した教育を実感しながら」「いつまでも生き生きと暮らせる」に図書館は欠かせないと思いますが、扱いが小さすぎます。この意識を変えるにはきちんと位置付けることが不可欠と考えます。 従来の生涯学習の枠組みでとらえ、優先順位が低い現時点での扱いに疑問を持ちます。</p> |